



2019 / 8



Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報・会員増強委員会

E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp / URL https://www.aichi-bma.jp

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

vol.364

・今月の視点・

平成30年度労働災害発生状況について

労務管理委員会委員長 田中裕二

労働災害の発生状況につきましては、毎月会員の皆様からご報告をいただきありがとうございます。

愛知協会では、皆様方からいただきました報告を月ごとに集計し、全国ビルメンテナンス協会に情報を提供するとともに、集計結果を会員の皆様方にお知らせし、労働災害発生防止対策に役立てていただき、労働災害の撲滅を目指しております。

◇愛知県と全国との比較

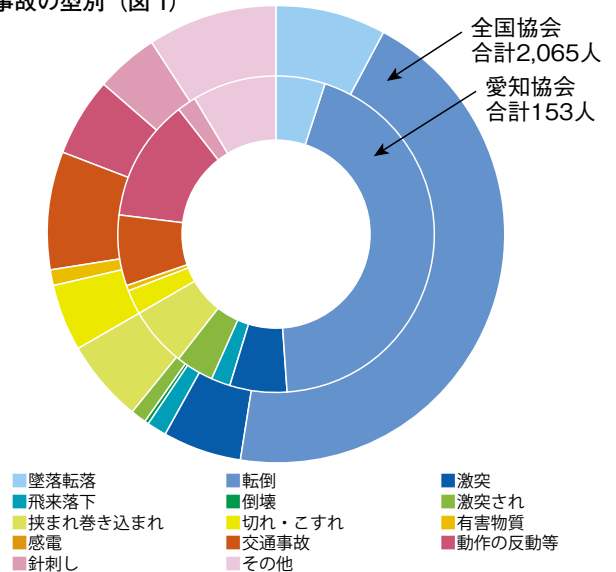
集計期間にずれがありますが、1年を通しての事故の型別を見たところ、全国集計とほぼ同様の傾向を示していますが、やはり「転倒」が全体の半数近くを占めています。特に「動作の反動」が昨年の倍近く発生しています。

表1(事故の型別)

	愛知協会※1		全国協会※2	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
墜落転落	8	5.2	165	8.0
転倒	67	43.8	921	44.6
激突	9	5.9	115	5.6
飛来落下	3	2.0	32	1.5
倒壊	0	0.0	5	0.2
激突され	6	3.9	25	1.2
挟まれ巻き込まれ	9	5.9	115	5.6
切れ・こすれ	4	2.6	101	4.9
有害物質	1	0.7	22	1.1
感電	0	0.0	1	0.0
交通事故	11	7.2	173	8.4
動作の反動等	19	12.4	114	5.5
針刺し	3	2.0	88	4.3
その他	13	8.5	188	9.1
合計	153		2,065	

※1 愛知協会集計:平成30年4月～平成31年3月
 ※2 全国協会集計:平成30年1月～平成30年12月

事故の型別 (図1)



愛知県の労働災害発生状況の推移

◆業務・通勤別労働災害発生状況

平成29年度と比較し、業務災害が16件、通勤災害が4件減り、全体で153件と前年比で11.6%減りました。

なお、平成30年度は、愛知県での死亡事故の発生はありませんでしたが、全国では3名の方がお亡くなりになられています。

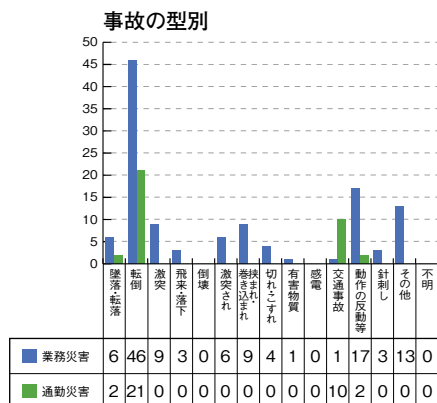
表2(年度別発生件数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
災害発生件数	133	132	173	153
業務災害	110	113	134	118
通勤災害	23	19	39	35
死亡事例(再掲)	1	0	0	0

事故発生状況分析

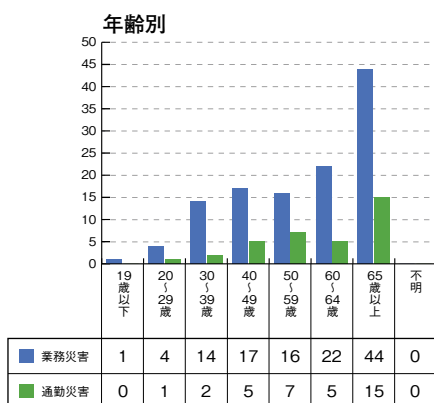
◆事故の型別発生状況(図2)

転倒で67件(43.8%)でした。



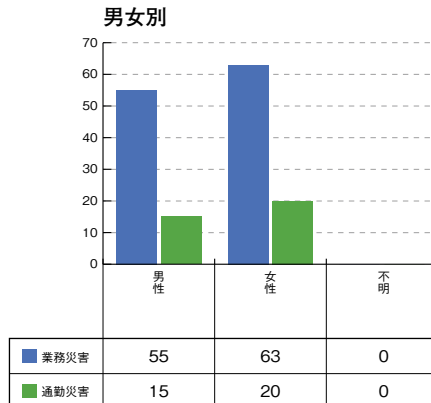
◆年齢別発生状況(図3)

65歳以上が59人(38.6%)でした。



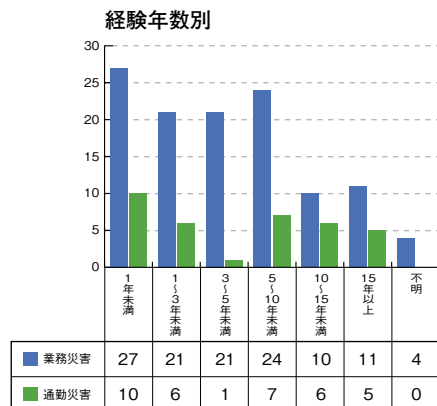
◆男女別発生状況(図4)

男性が70人(45.8%)、女性が83人(54.2%)でした。



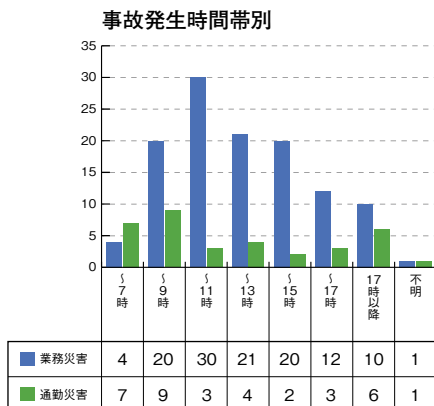
◆経験年数別発生状況(図5)

経験年数1年未満は37人(24.2%)でした。



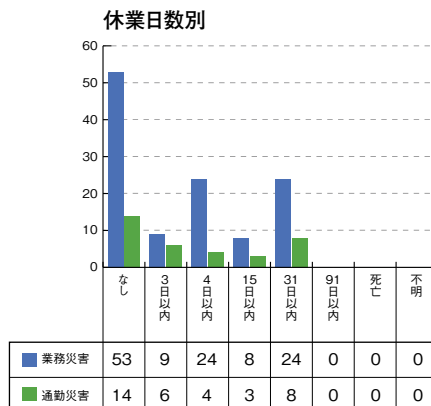
◆時間帯別発生状況(図6)

9時から11時までの発生が33人(25.6%)でした。



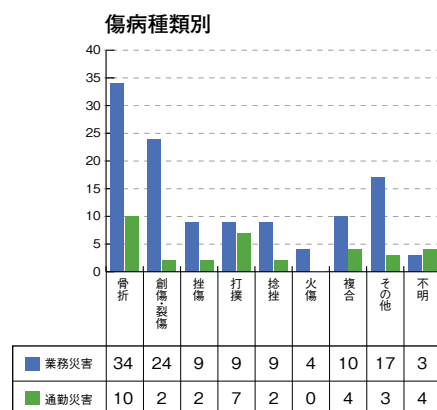
◆休業日数別発生状況(図7)

休業日数は0日が67人(43.8%)でした。



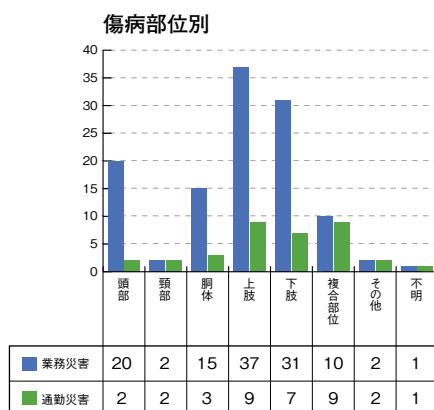
◆傷病種類別発生状況(図8)

骨折が44人(28.8%)、創傷・裂傷が26人(17.0%)でした。



◆傷病部位別発生状況(図9)

上肢が46人(30.1%)、下肢38人(24.8%)でした。



■愛知労働局への報告

2019年7月22日(月)に、平成30年度労働災害発生状況について愛知労働局労働基準部安全課の西田課長及び山内地方産業安全専門官に報告し、情報交換を行いました。

労働災害発生報告システム

ビルメンテナンス業に従事する方々の安全確保、業界全体の労働災害の減少や職場環境の向上を目的とした全国協会の情報の共有化システムです。

全国ビルメンテナンス協会
労働災害発生報告システム

検索

会員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、これからも正確な状況を把握するために引き続きご協力をお願いします。

■清掃作業従事者研修(初級コース)

清掃管理委員会

2019年7月5日(金)午前9時40分から、大成研修センターにおいて、清掃作業従事者研修(初級コース)が40名の参加者を得て開催されました。

講習会は、清掃管理委員会 勝野英雄委員長のあいさつで開講し、以下の科目についての講義を行いました。

最新の清掃技術として、ペンギンワックス(株)西村達也講師より、「剥離とパットについて」をテーマに講義があり、講習会は無事終了しました。

	研修科目	講師
午前	建築物衛生法と登録制度	勝野 英雄 〔(株)セイコー〕
	清掃の目的 清掃作業従事者の心得 清掃用機械器具の知識	川口 弘之 〔元(株)名鉄クリーニング〕
午後	清掃用機械器具の使用法	坂口 菊生 〔タイガー総業(株)〕
	清掃作業用資材の使用法 (洗剤、床維持剤)	村上 寛彦 〔コニックス(株)〕
	清掃作業用資材の使用法 (建築物内廃棄物処理) 清掃作業の安全と衛生	時松 英樹 〔中日プロ(株)〕
	最新の清掃技術 「剥離とパットについて」	西村 達也 〔ペンギンワックス(株)〕



■わが社のプロフェッショナル

株式会社ダイケンビルサービス名古屋支店

警備サービス課 橋本明宜

当社は清掃、設備、警備、サービスを主体とした総合ビルメンテナンス会社です。建物の総合管理をさせて頂いているお客様も多く、各職の連携を図り、建物の安全で安心して快適な環境を提供できるよう努めています。特に、私の在籍する警備職は、お客様の生命、身体、財産をお守りすることを目的とした重要な任務と捉えております。又、私は警備員指導教育責任者として、警備員の指導教育を担当させて頂いています。常日頃から現場の



警備員と向き合い、時には身の上話にも耳を傾け、一人ひとりの資質向上に努めています。その積み重ねがお客様からより厚い信頼を頂けるものと考えています。今後にお

きましても、警備業法を基盤とした上で、様々な社会情勢、事故事例などの研鑽に励み、警備員の指導教育を充実させるよう努めてまいります。

■ビルメンテナンス青年部 西日本サミットIN京都

青年部

今年のビルメンテナンス青年部西日本サミットIN京都は、からずま京都ホテルで6月13日(木)に開催されました。

「西日本サミットの再構築 ～新たな未来への第一歩～」をテーマとして、西日本サミットを開催する意義や今後の在り方などについてディスカッションを行いました。



▲パネルディスカッション

ディスカッションは「議題1:西日本サミットの開催目的とは…?」「議題2:西日本サミットの目指す開催内容は?」「総評」の三部構成で、それぞれの議題ごとに壇上でパネリストがコーディネーターの進行のもとディスカッションを行い、その内容を参考に会場の参加者がテーブルごとに意見交換をする設えで、意見交換がより活発になる工夫がされていました。

その中で、これまで毎年開催されていた西日本サミットが、隔年開催となった経緯を鑑みて様々な意見が交わされました。



▲意見交換内容の発表

協会の援助金や協会の人数が少ないために大会開催が困難な県や、青年部が事業を行うためにその都度協会の了承を得る必要がある県など、各青年部に様々な事情があることを知る

良い機会となりました。

また、講師をお招きして講演をするなどの多くの金銭や受け入れ体制が必要な設営などは、開催のしやすい青年部が行うなどの棲み分けをした方が良いというご意見もありました。

今後は、この様な情報交換をメインとした設営をすることで、西日本サミットがより意義のあるものになると思います。

懇親会では、10月24日(木)に青年部の全国大会IN愛知を開催し、その大会内で各地青年部に活動報告をして頂くお願いを致しました。



▲壇上での全国大会PR

また、第1回東日本サミットが今年11月に開催されるビルメンテナンス2日目(14日)に東京ビッグサイト会議棟にて行われる告知もありました。

愛知青年部は愛知で開催される全国大会の成功に向けて全力で取り組んでおります。今後とも皆様方のお力添えを宜しくお願い致します。

